

平成14年度 第一回 徳島県公共事業評価委員会 審議概要

日 時：平成14年11月15日（金）13：00～15：45

場 所：徳島県庁10階大会議室

委員出席者：上月康則、河野清（会長）、佐藤晃一、松根美幸、山中英生、横畠康吉、  
（敬称略、五十音順、7名中6名出席）

審議対象事業（県土整備部関係 8件）

< 県事業 >

道路改築事業 主要地方道徳島環状線（国府工区）	徳島市国府町
緊急地方道路整備事業 一般県道板野川島線	麻植郡鴨島町
統合一級河川整備事業 学島川	麻植郡川島町～山川町
地すべり対策事業 森清地区	三好郡三加茂町
港湾改修事業 今切港（旭野地区）	徳島市川内町
海岸保全施設整備事業 折野港（北灘西地区）	鳴門市北灘町
公営住宅整備事業 鴨島呉郷団地	麻植郡鴨島町

< 市町村事業 >

街路事業 阿南市道滝ノ下畷線	阿南市富岡町～日開野町
----------------	-------------

主な質疑概要

**道路改築事業 主要地方道徳島環状線（国府工区）**

**緊急地方道路整備事業 一般県道板野川島線**

（委員）

国府工区の全ての完成は平成26年度とあるが、側道で供用した後、高架部分の用地はどうするのか。

（県）

暫くの間は側道で供用し、今後の道路の利用状況等によって高架部分をどうするか判断したいので、当面はそのままになる。

（委員）

当面とはどの程度の期間か。

（県）

国が実施している南環状道路とも一連となって整備する必要があるので、南環状線の高架工事ともよく連携を取りながら考えていきたい。

（委員）

（ ）とも事業を実施することで周辺の）環境が変わることによる費用便益が計算されていない。

（県）

国の道路に関する便益計算マニュアルに基づいて試算しており、環境項目はこのマニュアルには入っていない。今後、国とも相談したい。

（委員）

遅れた原因が用地買収が難航したためとあるが、特に他のケースに比べ難航したのか。

（県）

国府工区は埋蔵文化財の発掘調査に時間と費用を要したこと。また、（ ）とも）相続問題や代替地問題、単価などの問題で時間を要したことがあげられる。

（委員）

この地域は洪水が多いが、徳島環状線の側溝の大きさはこれで大丈夫か。

（県）

水害が多い状況を踏まえ、水路の断面設計をしている。

（委員）

交通量の測定位置を明確にして欲しい。また、将来交通量は整備前と整備後の状況を出して欲しい。

（委員）

両事業とも一日も早く完成を急いで欲しい。

### **統合一級河川整備事業 学島川**

(委員)

多自然型と従来型ではどちらが安くできるのか。

(県)

学島川は、現在、暫定の素堀河道で進めている。一般的には多自然型の方が安いと思うが、川幅が広く必要になるので用地費は多くなる。

(委員)

環境に配慮するとどの程度のコストがかかるのかということを経済計算し、環境に配慮するためのコストと便益を考慮していく必要があるのではないかと。

(県)

必要であると考えている。河川改修は原則として環境に配慮する工法をとることになっている。コスト面の意識を持ちながら環境への配慮を行いたい。

(委員)

環境に配慮する値段を評価し、外に向けてデータとして整理しなければ次に繋がらない。検討をお願いする。

(委員)

この地域は水害も多く、地元からは是非進めて欲しいとの要望も高い。

### **地すべり対策事業 森清地区**

(委員)

費用対効果の計算で出てくる補修費の意味を教えてください。

(県)

対策工がなかった時には何がしかの人的・物的被害が生じるので、その補修（あるいは治療）するための費用である。

(委員)

リスク確率を100分の1で計算しているが高いのではないかと。

(県)

実際に地すべり現象が発生しているので高くなる。

(委員)

対策工事が全部完成すれば、リスク確率が0になるという想定はおかしいのではないかと。また、人的被害の金額も低いのではないかと。

(県)

国が作成したマニュアルによって計算しているが、ご指摘のように人の命はお金に換算しづらい。

(委員)

防災事業に関する費用対効果の計算に、少し色々な問題もあると思うが、災害が防げるのは大きい。ずっと暮らしている地域の方々の生活を守ることや、道路の通行を確保する問題もあるので、防災事業は、順次行っていくしかない。

### **港湾改修事業 今切港（旭野地区）**

#### **海岸保全施設整備事業 折野港（北灘西地区）**

(委員)

今切港について、航路の維持管理する浚渫の費用は入っているのか。

(県)

浚渫をする可能性はあるが、期間の想定が難しいので算定に入れていない。

(委員)

便益計算はどのような点で利便性が向上するとして計算しているのか。

(県)

現在の係留は数カ所に分かれてしているので、それを一箇所に集約することで作業時間が短縮される点を便益計算している。

(委員)

事業の必要性を説明するためにも、その地域独特の便益計算を研究するなどして、説明責任を果たしていくべきと思う。

( 県 )

費用対効果の計算をマニュアルに頼りすぎず、一般市民の方に理解して頂けるよう努力したい。

( 委員 )

何故この計画をここにしたのか。他に例はあるのか。川の流れに影響があるのでは。

( 県 )

この周辺の主にノリの養殖に使用する船の係留に必要な施設で、集めたノリを収穫する施設が近くに必要ということから、適地はここしかないということで計画した。また、このような堀込み式の港湾は県内にも例がある。川の流れへの影響は少ないと考えている。

( 委員 )

堀込んだ砂はどうするのか。

( 県 )

空港周辺整備事業で実施している人工海浜の造成用の砂に利用する予定。

( 委員 )

係留のための料金は便益計算に含めているのか。

( 県 )

便益計算には入れていない。

( 委員 )

収入として検討すべきでは。今切港は船舶の航行の障害なる係留船対策としても必要であり、また、折野港も、北風が強くと離岸堤と堤防は必要な施設である。

#### **公営住宅整備事業 鴨島呉郷団地**

( 委員 )

現位置での建て替えということで、他の方法との費用比較を教えて欲しい。また、コスト縮減はどのようにしたのか。

( 県 )

新たにまとまった用地を取得するには相当な困難と費用を要すると思うが、具体的な試算はしていない。他にも大きな課題があることから、県営住宅は順次、その場で建て替えをしている。コスト縮減は、機械室のないエレベーターの設置等による費用の削減をしている。

( 委員 )

地域環境にマッチした計画である。シルバー住宅が必要な高齢化時代。積極的に取り入れていただきたい。

#### **街路事業 阿南市道滝ノ下畷線**

( 委員 )

阿南市の都市計画を進めていくうえで、重要で必要な道路。できるだけ早期に用地交渉を進め完成させて欲しい。

( 委員 )

道路の計画が一直線になっているが、そこまでしなくてもと思う。

墓地は避けられなかったかとの思いもあるが、早く完成させて欲しい。

( 委員 )

当初計画からすると、完成時点が徐々に先延ばしになっていると思う。その点を明らかにして欲しい。また、各年度の進み具合をグラフで示して頂きたい。

< その他 >

( 委員 )

徳島環状線国府工区の水路に手すりが欲しい。子供が落ちたら危険。

( 県 )

地元と協議しながら必要に応じて対処する。

(委員)

暫定改修する河川でも、当分の間はこれでいくのであれば、洪水が無くなるわけではないので、それに応じたハザードマップを作成し、一般に周知する必要があると思う。また、場合によっては、流域から直接吉野川へ排水するポンプの設置も検討してもよいのではないかと。

(県)

吉野川ではすでに浸水想定区域図が示されている。県も勝浦川など大きな河川から順次作成したい。また、ポンプは吉野川との合流点に設置する必要があり、多額の費用を要することから、様々な点を考慮して優先度を決めながら考えていかなければならない。

まとめ

(会長)

本日、審議した8件については、いずれも継続として委員方々の了承が得られた。

ただし、付帯条件として次の2点を添える。

- ・道路事業2件と阿南市街路事業については、用地取得に最善を尽くし、早期完成に努めること。
- ・全体として、費用便益計算の時に、徳島県独自で加えられるものがあれば、是非、検討して取り組んでいただきたい。

以 上